

平成29年度青森県男女共同参画センター及び青森県子ども 家庭支援センター（アピオあおもり）の管理運営状況

県所管課	環境生活部青少年・男女共同参画課 健康福祉部こどもみらい課
指定管理者	青森コミュニティビジネス株式会社
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日

1 管理業務の実施状況

(1) 青森県男女共同参画センター

業務区分	概要
普及啓発事業	パートナーセッション2017（アピオあおもり秋まつり）を開催した。 また、地域ネットワーク活動支援事業として、県内6地域に構築した男女共同参画ネットワーク組織において、地域の特色を活かした男女共同参画の学習会等を各地域で実施した。
学習・人材育成事業	ウィメンズアカデミーを、働く女性リーダーコース（青森市）及び地域女性リーダーコース（五所川原市、三沢市）の2コース開催した。
情報提供事業	男女共同参画を推進するための情報を収集、蓄積、提供する情報ライブラリーについて、購入図書を選定やテーマ展示、出前貸出等の工夫を行った。 男女共同参画の視点に立った情報誌を年2回発行した。 また、特集号「夫婦d e ミーティング」として冊子を作成し、市町村に送付して母子手帳交付時や両親学級等での配布を依頼した。
相談事業	女性が直面している問題に対し、電話及び面接相談により、解決に向けた支援を行った。また、相談事業の一環として支援者向けDV講座「支援者のためのグループスーパービジョン～DV被害者支援に求められること」等を実施した。
体験型交流事業	家事等における男女共同参画を進めるため、料理等を男女が協力して行う体験型交流事業を実施した。

(2) 青森県子ども家庭支援センター

業務区分	概要
情報提供事業	ホームページの運営等により、子どもと家庭に関する情報提供を行った。また、子育て支援に関する情報啓発情報誌を発行したほか、あおもり子育て応援わくわく店の登録及び情報発信等事務を行った。
活動支援事業	県内の地域子育て支援拠点関係者を対象に、子育て支援の連携強化を目的とした研修や実技向上のための講習会を開催した。また、子育て団体の学習会等に講師を派遣した。
総合相談事業	結婚、妊娠、出産、子育ての悩みや子どもの問題など、子どもと家庭に関する様々な相談を電話及び面接で受け付け、支援を行った。
学習体験事業	児童図書室では、乳幼児から小学校低学年を対象とした児童図書やビデオ等の貸出を行った。また、親子のスキンシップを目的とした体験活動を実施したほか、児童福祉週間には子どもと子育てに関する複合的なイベントを開催した。
普及・啓発事業	社会全体で子育てすることの重要性を学ぶ機会を設け、子育て関連団体と協働し、講演会やワークショップ等を実施した。
調査・研究事業	のびのびあおもり子育てプラン推進に資するべく、安心して子どもを育てられるよう「子育てサークル実態調査」を実施し、「青森県子育てサークルリスト」を作成し関係機関へ配布した。

2 管理施設の利用状況

(1) 青森県男女共同参画センター及び青森県子ども家庭支援センター

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
貸館利用者数	H25	85,000人	81,978人	96.4%	99.0%
	H26	85,000人	51,729人	60.9%	63.1%
	H27	85,000人	80,404人	94.6%	155.4%
	H28	85,000人	81,080人	95.4%	100.8%
	H29	85,000人	76,233人	89.7%	94.0%
施設使用件数 (H26までは「施設使用料収入」)	H25	6,570,000円	7,234,710円	110.1%	104.5%
	H26	6,888,000円	4,272,445円	62.0%	59.1%
	H27	3,000件	2,759件	91.9%	—
	H28	3,000件	2,974件	99.1%	107.8%
	H29	3,000件	3,013件	100.4%	101.3%

(2) 青森県男女共同参画センター

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
情報ライブラリー貸出件数	H25	14,000件	11,553件	82.5%	91.5%
	H26	14,000件	7,652件	54.7%	66.2%
	H27	12,000件	9,521件	79.3%	124.4%
	H28	12,000件	10,169件	84.7%	106.8%
	H29	11,000件	10,327件	93.9%	101.6%
地域ネットワーク活動支援事業企画運営 (H26まで「地域パートナーセッション参加者数」)	H25	募集定員の100% (460人)	770人	167.4%	—
	H26	募集定員の100% (230人)	228人	99.1%	—
	H27	県内6箇所を実施	県内6箇所を実施	—	—
	H28	県内6箇所を実施	県内6箇所を実施	—	—
	H29	県内6箇所を実施	県内6箇所を実施	—	—
情報誌読者アンケート満足度	H25	5段階評価の4.1	4.3	104.9%	107.5%
	H26	5段階評価の4.1	4.2	102.4%	97.7%
	H27	5段階評価の4.1	4.2	102.4%	100.0%
	H28	5段階評価の4.1	4.15	101.2%	98.8%
	H29	5段階評価の4.1	4.3	104.9%	103.6%

(3) 青森県子ども家庭支援センター

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
情報誌活用度	H25	5段階評価の4.1	4.5	109.8%	102.3%
	H26	5段階評価の4.1	4.1	100.0%	91.1%
	H27	5段階評価の4.1	4.1	100.0%	100.0%
	H28	5段階評価の4.1	4.2	102.4%	102.4%
	H29	5段階評価の4.1	4.3	104.9%	102.4%
手作りおもちゃ講習会参加者	H25	150人	119人	79.3%	96.7%
	H26	150人	151人	100.7%	126.9%
	H27	150人	131人	87.3%	86.8%
	H28	150人	168人	112.0%	128.2%
	H29	150人	178人	118.7%	106.0%

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
親子すくすくスキ ンシップ参加 者	H 2 5	親子向け 募集定員の100% (590人)	親子向け 564人	親子向け 95.6%	親子向け 94.8%
		指導者向け 募集定員の100% (550人)	指導者向け 542人	指導者向け 98.5%	指導者向け 279.4%
	H 2 6	親子向け 募集定員の100% (360人)	親子向け 359人	親子向け 99.7%	—
		指導者向け 募集定員の100% (100人)	指導者向け 94人	指導者向け 94.0%	—
	H 2 7	親子向け 募集定員の100% (340人)	親子向け 319人	親子向け 93.8%	親子向け 88.9%
		指導者向け 募集定員の100% (130人)	指導者向け 89人	指導者向け 68.5%	指導者向け 94.7%
H 2 8	親子向け 募集定員の100% (370人)	親子向け 329人	親子向け 88.9%	親子向け 103.1%	
	指導者向け 募集定員の100% (110人)	指導者向け 109人	指導者向け 99.1%	指導者向け 122.5%	
H 2 9	親子向け 募集定員の100% (220人)	親子向け 293人	親子向け 133.2%	親子向け 89.1%	
	指導者向け 募集定員の100% (40人)	指導者向け 31人	指導者向け 77.5%	指導者向け 28.4%	
子育て広場参加 者	H 2 5	募集定員の100% (220人)	102人	46.4%	85.0%
	H 2 6	募集定員の100% (220人)	143人	65.0%	140.1%
	H 2 7	募集定員の100% (230人)	121人	52.6%	80.9%
	H 2 8	募集定員の100% (180人)	99人	55.0%	104.6%
	H 2 9	募集定員の100% (150人)	73人	48.7%	73.7%

【増減理由】

・貸館利用者数、施設使用料収入について

施設の利用件数については前年度を上回り目標を達したものの、貸館利用者数については利用1件当たりの利用者数が減少したことにより前年度比94.0%と減少し、目標に達しなかった。

・地域ネットワーク活動支援事業、情報誌読者アンケート満足度について

県・市町村・男女共同参画団体等で県内6地域に構築した男女共同参画ネットワーク組織を活用し、地域の男女共同参画の学習会を実施した。情報誌読者アンケートについても、例年並み評価を得た。

・親子すくすくスキンシップ参加者数

親子のスキンシップを目的とした体験活動を実施したほか、子育て支援関係者の資質向上を図る研修として内容充実を図った。親子向け事業は目標値を達成したが、指導者向け事業は達成できなかったため、今後も内容の充実と効果的な周知に努め参加者の増加につなげる必要がある。

・子育て広場参加者

講演会ワークショップの形式を取り入れる等の実施形態の工夫をしたほか、周知範囲を拡大するなど参加人数の増加に努めたが、年末年始を挟んでの申込み受付となったこともあり、目標値の半分ほどの参加者となってしまった。今後は男性が参加しやすい内容やワークショップ・トークセッションの形式を取り入れる等の工夫をするほか、子育て関連団体の活動の紹介や交流の場を提供しネットワーク作りを図る。

3 評価結果

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組が適切に行われているか。	3	2	全職員をローテーション勤務とし、業務水準書等に掲げる業務を適正に実施しているが、施設予約に関する軽微な苦情があり、一部改善を要した。
②利用促進に向けた取組が適切に行われているか。	3	3	館内における催事案内表示はもちろん、ホームページにおいて施設の予約状況を情報提供しているほか携帯サイトやスタッフブログにより、利用情報提供の利便性向上に向けて取り組んでいる。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	3	建物、設備の維持管理や清掃業務を適正に実施するとともに、必要に応じて修繕等の措置をとり利用者の利便性と安全性が確保されている。また、備品管理については日常点検・確認を実施している。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	3	基本協定書の規定を遵守すべく、随時職員の教育の徹底を行った。また、防災マニュアルを改訂し、来館者への注意事項を示した簡易マニュアルを整備したほか、緊急連絡系統図の周知徹底を図っている。なお、消防訓練も実施している。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	3	3	管理業務及び両センターの事業は事業計画書に基づき実施され、指定管理料が適正に執行されている。また、管理標準を定め、光熱水費等の無駄の削減、経費節減に努めており、必要な修繕の早期対応に努めている。

⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	3	4	一部達成できなかった指標項目があるものの、成果目標達成のための努力が行われている。
⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	個人情報保護の重要性を踏まえ定期的に職員研修を実施しており、苦情等の問題が発生していない。
総合評価	3	3	総合して業務水準書等の内容が満たされている。

○評価基準

- 5（秀）：業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている。
- 4（優）：業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている。
- 3（良）：業務水準書等の内容が満たされている。
- 2（可）：業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する。
- 1（不可）：業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する。